

“本物の学力”ってなんだろう？

それは自分自身の人生を楽しむために必要な“力”。

そのためにこそ、子どもたちに“考える力”を身につけてほしい。

家庭で

本物の学力を育てるとっても簡単な方法

小4の頃から勉強につまづく子、中学校に上がった後勉強がわからなくなって塾に通いだす子が多い中、習ったことがない難しい文章問題でも楽しく自分で考えて解き、新しい漢字もパッと見るだけで覚えて、中学から塾に行かなくても困らない子たちがいます。

どうしたらそういう子が育つか、そのとっても簡単な方法を知りたくないですか？
親も子どもも、笑顔が増えて楽しくなります。

<S5級-05>★★

三つ目小僧チームと一つ目小僧チームがドッジボールをしています。三つ目小僧チームのほうが2人多いようです。全員の目の合計は22個です。三つ目小僧チームは何人いるのでしょうか。

“考える”とはどういう事かを具体的に教えてあげれば、解き方を教えていない上の問題を、小学1年～2年生たちが、「習ってない!」「わかんない!」なんてことを言わずに、**自力で考えて** 答えを出してしまうんです。

講座の内容

- 小学校入学前までの過ごし方
- 外遊びの大切さ
- 習い事、スポ少との関わり方
- どうして小4頃から算数に躓きだすか
- わからないってどういう事?
- 考えるって具体的にはどういう事? 等々

講師 ■金森 明



1972年生まれ。外食・IT企業で人事・人事管理職(採用・教育・企画)に計12年間携わる。大勢の学生を面接し、社員の教育に関わった経験から、わが子をマニュアル人間にしたいくないとの思いが募り、退職して学習塾を開き「どんぐり倶楽部」と出会う。

現在、千葉県でどんぐり式の「地頭を鍛える学習教室」を運営する傍ら、PTA 研修会の講師、小学校で算数の学習支援、お母さんたちへのワークショップなど、健全な子育てと学習方法を伝える活動をしている。12歳、9歳、5歳の息子の子育て中。

講座実施のお問い合わせ jiatama.gforest@gmail.com

地頭を鍛える学習教室 <https://www.jiatama-t.com/>